

国の施策の方向（１） デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

国の施策の方向（１）－④ 魅力的な地域をつくる

基本目標４

豊かな暮らしを営む地域をつくりまします。

人口減少対策を推進するためには、「しごと」と「ひと」の好循環を支える「まち」づくりが必要となります。

村内における空き地、空き家の有効的な利活用を図るなどして、新たな居住者を確保することによりコミュニティの存続を図るとともに、景観に配慮したまちづくりを進めます。

健康的で安心して住み続けられる「まち」を形成するとともに、将来を担う人材の育成にも取り組みます。また、地域間連携にも取組み広域的な地方創生を推進します。

健康を維持するためには医療や保健推進を図っていく必要があり、これまでの取り組みに加え施設整備はもちろんのことデジタルを駆使した健康管理にも取り組む必要があります。

また、豊かな暮らしのためには人が集える場所や趣味のサークルといった団体の充実が必要不可欠になることから、必要となる施設の改修や団体活動の推進を図っていきます。

交流人口を拡大するためには、観光施設の維持管理や交流施設の充実が必要になります。デジタルを駆使して、観光客を誘客するコンテンツを開発し、来村につなげていきます。

（１）数値目標（令和６年度）

目 標	目標値
持ち家の増加数	５年間で30戸
交流人口の増加数	150,000人（令和6年）

（２）講ずべき施策に関する基本方向

- 上更別地域の活性化を図ることから、地域の活性化協議会の活動に支援を行い協働店舗の経営の健全化を図ります。
- 空き家等の利活用や、空き家等の物件に関する調査とデータベース化を行い円滑な利活用を促進します。
- いつまでも住み続けたいまちを目指し、良好な景観づくりを行い、生活しやすい環境づくりを進めます。
- 十勝定住自立圏における地域間連携、一部事務組合等それぞれの枠組みによる広域的な連携を推進します。

- 「新・人材育成事業」による多様かつ専門的な講師陣を駆使し、地域課題を解決する人材を育成するとともに、事業における関連市町との連携により地方創生を推進します。
- 人が集う場所・団体活動を整備、推進し、コミュニティの存続につなげます。
- デジタルを活用してバイタルデータを常時計測することで、医療や健康指導に活用し健康寿命の延伸を図ります。
- 交流人口を受け入れる施設の改修や整備に取り組み、観光面においてもデジタルを活用して、観光客を誘客するようなコンテンツを充実させます。
- 防災施設・設備を充実させ、災害に強い村づくりを進めます。

(3) 施策ごとの重要業績評価指標（KPI）と具体的な取り組み

○施策1 安心な暮らしの確保

項目	重要業績評価指標（KPI）
空き家の解消（空き家率）	4%に減少（令和6年）
空き地の利活用数	5年間で10か所
宅地分譲地の整備数	5年間で2か所
上更別市街人口数	150人（令和6年）
体育連盟及び少年団数	20団体（令和6年）
福祉の里総合センター延べ利用者数	9,000人（令和6年）
健康寿命（平均自立期間）	男性 78.0 歳、女性 85.5 歳（令和6年）

(1) 快適なまちづくりへの取り組み

安心して日常生活が営める生活機能を維持するとともに、快適な生活環境の整備を推進します。

[内 容]

- ① 上更別地域活性化事業
- ② 空き地・空き家バンク制度の実施
- ③ 街を形成する宅地分譲の実施
- ④ 防災機能を高める施設の機能向上
- ⑤ スポーツ・芸術文化の推進及び保全
- ⑥ 行政区会館の改修

(2) 健康で安心して暮らせるまちづくり
<p>健康で安心して暮らすことのできるまちづくりを進めることから、保健環境の充実を図ります。</p> <p>[内 容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 予防接種支援事業 ② 医療施設・環境の充実 ③ 高齢者福祉の拠点となる施設整備や見守り等の体制充実 ④ デジタルを活用した手軽なバイタルデータ計測及び血液・尿検査の実施 ⑤ コミュニティナースによるフレイル予防 ⑥ 医療のデジタル化によるサービスの向上
(3) 村を支える人材育成の実施
<p>これからの更別村を支える人材を育てるとともに、まちづくりの取り組み機運の醸成を図り人口減少時代に対応します。</p> <p>[内 容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「新・人材育成」事業による人材育成の推進 ② 商工会・日本政策金融公庫との連携による創業塾の実施 ③ 若年層における国際交流・外国語指導の充実
(4) 広域連携の推進
<p>地域課題の範囲に合わせた十勝定住自立圏や関連市町村との連携を持ち、広域的な地方創生を推進します。</p> <p>[内 容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「新・人材育成」事業による地方創生の推進 ② 台東区・墨田区連携プロジェクトの推進

○施策2 地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

項 目	重要業績評価指標 (KPI)
年間観光入込数	100,000人 (令和6年)
更別村地域創造複合施設の利用者数	15,000人 (令和6年)
プラムカントリーの利用者数	23,000人 (令和6年)
さらべつカントリーパークの利用者数	10,000人 (令和6年)
すももの里まつり、ママチャリレース、大収穫祭の来場客数	9,000人 (令和6年)
十勝スピードウェイの来場者数	25,300人 (令和6年)

(1) 観光消費の拡大への取り組み

地域経済の活性化を図るため、地域の資源を活用した観光地づくりを推進し、ブランディング計画の策定におけるまちの駅計画の推進など、観光客の受入れ体制を整備します。

[内 容]

- ① どんぐり公園整備事業
- ② さらべつまるごとブランディング計画の策定・推進
- ③ さらべつカントリーパーク改修事業
- ④ 観光・物産振興事業
- ⑤ デジタルを活用した十勝スピードウェイへの観光誘客事業

(2) 交流人口の拡大への取り組み

「新・人材育成」事業など地域創造複合施設や観光施設を活用した様々な取り組みを通じ、「ヒト」や「モノ」の流れの活性化を図ります。

[内 容]

- ① 「新・人材育成」事業による交流人口の創出
- ② さらべつカントリーパークを活用した滞在型観光の振興
- ③ 交通モードの利活用により地域の内外をつなぐ交流人口拡大推進事業による関係人口増の推進
- ④ ふるさと館改修事業
- ⑤ 地域創造複合施設の整備・維持管理